Photo ふなばし

とくしゅう PART1

姉妹都市提携3周年を記念して オーデンセ市文化使節団が来船

全国でも珍しい点字の石碑を見るヴァーナー・ダルスコーオーデンセ市長(左)と大橋和夫市長

とくしゅう PART2

知的でスポーツマインドあふれる89人が参加!!

'92ミスふなばしコンテスト 開催

とくしゅう PART3

市民同士が囲碁を通じて交流

船橋市・上海市国際親善囲碁大会

アンデルセン公園石碑

- 市政トピックス
- 街角ホットニュース
- WE ARE IN FUNABASHI
- アトリエ訪問
- サークル通信

まちなかの文化財／ふなばしの民話

ペットインタビュー

vol. 50

広報ふなばし写真版

とくしゅうPART1

姉妹都市提携３周年を記念して

オーデンセ市文化使節団 が来船

７月29日、ワンパク王国で「アンデルセン公園」石碑の除幕式が行われました。「アンデルセン公園」は、ワンパク王国とメルヘンの丘、子ども美術館の総称で現在整備を進めていますが、本公園の建設に当たり、船橋市とオーデンセ市の友好を記念して石碑を建てたものです。この石碑には「福祉の国」デンマーク・オーデンセ市と船橋市の交流にふさわしいように、碑文の点字板を埋め込んだ石碑が本体の脇に建てられています。このように、点字と対になっている石碑は、全国でもあまり例がなく、ヴァーナー・ダルスコーオーデンセ市長もこのアイデアに大変感心されていました。

船橋市・オーデンセ市姉妹都市提携3周年記念

デンマークの夕べ

ららぽーと劇場で開催された「デンマークの夕べ」。アンデルセン劇団によるアンデルセン童話の寸劇、総勢80人の少女鼓笛隊やデンマークで最も長い歴史を持つジャズバンド「カーディナルス」の演奏が披露されました

「人魚姫」や「はだかの王様」など数多くの名作を残した世界的童話作家アンデルセン。このアンデルセンのふるさと、デンマーク王国オーデンセ市と船橋市とが平成元年に姉妹都市を提携してから今年で3周年を迎え、これを記念して、7月27日から8月2日にかけて「デンマークフェア」が開催されました。

これは、デンマークの文化や産業をもっと広く市民の皆さんに知ってもらおうと、産業まつりと並行して開催されたもので、市と民間とが一体となって市内各会場で積極的に国際交流が進められました。

今回、船橋市を訪れたのは、ヴァーナー・ダルスコー市長夫妻をはじめ、少女鼓笛隊、アンデルセン劇団、ジャズバンド、そして、女声合唱団など総勢約170人です。過去にこれほど大勢の人が一度に日本を訪れたことはなく、デンマークと日本の国交始まって以来の規模だろうと言われています。

一行は、7月29日、ワンパク王国を訪れ、両市の友好を記念した石碑の除幕を行いました。

現在、船橋市では、ワンパク王国に隣接して「メルヘンの丘」と「子ども美術館」を建設し、これら三つを総称して「アンデルセン公園」とする計画を進めていますが、この公園の建設に当たり、船橋市とオーデンセ市の友好を記念して石碑を設置したものです。

この他、市内の各デパートで開催されたデンマークフェアの会場を訪れたり、時報とともに人魚姫と親指姫の人形が踊る船橋駅北口おまつり広場の「からくり時計」を視察するなど、連日猛暑が続くなか、積極的に市民との交流を深めていました。

西武百貨店船橋店で開催された「おとぎのくに・アンデルセン展・切手展」。アンデルセン童話の初版本など貴重な資料が数多く展示された

お菓子で作ったオーデンセの街並み（東武百貨店船橋店）

ららぽーとを視察するオーデンセ市代表団の皆さん

デンマークの有名な木製玩具が展示された「こどもプレイランド」（船橋そごう）

とくしゅうPART 2

知的でスポーツマインドあふれる89人が参加!!

'92ミスふなばしコンテスト開催

舞台に勢揃いした入賞者の皆さん。これから1年間、市の様々な行事で活躍していただきます

健康美人が勢揃いしたミスふなばしコンテスト

渡辺三郎船橋市観光協会会長からミスさざんかの表彰を受ける渡部みどりさん

「産業まつり」のオープニングを飾る「ミスふなばしコンテスト」が、7月4日、市民文化ホールで行われ、興梠（こおろぎ）ひかりさん（松が丘1）が見事「ミスふなばし」の栄冠に輝きました。今回の最終審査は「スポーツ健康都市・船橋」にふさわしく、自ら持参したスポーツウェアで行われ、参加者の皆さんは、はつらつとした健康美を競い合いました。

スポーツ健康都市・船橋にふさわしく
最終審査はスポーツウェアで行われた

'92ミスふなばしコンテスト実行委員会
主催 船橋市

スポーツウェアで行われた最終審査。スキーウェア、乗馬服、ゴルフウェアなど様々なスポーツウェアが並んだ

「ミスふなばしコンテスト」は、毎回、第一次審査と最終審査を行い、その年の「ミス」を選んでいます。昨年の最終審査は私服で行われましたが、今回は、「スポーツ健康都市・船橋」にふさわしく、スポーツウェアに着替えて行われることになりました。

最終審査に残った15人の皆さんは、水着やテニス、ゴルフに乗馬など、個性あふれるご自慢のスポーツ・ルックでステージに登場。元気いっぱいに、さわやかな健康美を審査員の皆さんや会場につめかけた市民の皆さんにアピールしていました。

そして、最終審査の結果、「ミスふなばし」には、興梠ひかりさんが、また、「ミスさざんか」には西村麻里さん（習志野台4）と渡部みどりさん（坪井町）、「ミスチャーム」には、生内克美さん（湊町2）と加賀智美さん（千葉市）が、それぞれ選ばれました。

今回選ばれた皆さんは、これから1年間、市の様々な公式行事で活躍します。街角で見掛けたら、気軽に声を掛けてくださいね。

第1次審査は私服で行われた

若い女性の愛好者が増えているのを反映してゴルフウェアも登場

司会の梶幹雄さんとアシスタントの川瀬なな子さん

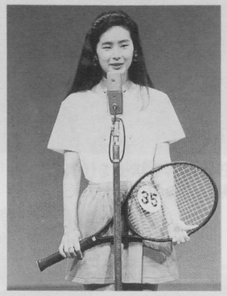
大橋和夫市長からミスふなばしの表彰を受ける興梠ひかりさん

セントラルスポーツ沼の皆さんによるエクラブ津田アロビクス

最終審査で出場者に質問をする大橋和夫市長

乗馬服姿でミスチャームに選ばれた加賀智美さん　ミスチャームに選ばれた生内克美さん

ミスさざんかの渡部みどりさんはジョギング姿



一番多かったテニスルック

ミスさざんかの西村麻里さんはレオタード姿

若々しいチアリーダースタイル

暑さに負けずスキーウェアで挑戦

市民同士が囲碁を通じた交流
船橋市・上海市
国際親善 囲碁大会

息詰まる対局にギャラリーの皆さんの表情も真剣に（山下功アマ６段と韓啓姚アマ６段）

中国で実力№１といわれる女流棋士・楊暉プロ（８段）と日本の若手棋士を代表する森田道博プロ（６段）のハイレベルな対局は、息詰まる緊張感の中で行われた

中国・上海市から尹鐘佐さんを団長とする囲碁団一行９人が来船、７月18日・19日の二日間にわたり第３回船橋市・上海市国際親善囲碁大会が行われました。

上海市との交流は、昭和60年に「船橋少年の船」が訪問したのをきっかけにスタートしました。その後、昭和62年と平成３年にも上海市を訪れて、青少年同士の交流が行われています。囲碁を通じた交流は、平成２年５月に上海の囲碁選手団10人が本市を訪れ、国際親善囲碁大会を行ったことをきっかけに始まりました。翌平成３年には、船橋市から囲碁愛好者21人が上海市を訪問しています。

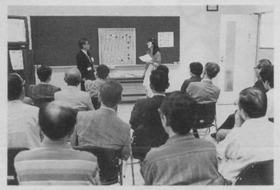
18日の開会式では、選手としても参加している大橋和夫市長が「皆さんの訪問を市民を代表して歓迎します。囲碁を通じて、両市の友好交流を一層深めていきたい」とあいさつ。両市選手団の紹介の後、対局が始まりました。対局は、プロ２名、アマチュア５名ずつで行われました。親善大会とはいえ対局は真剣勝負。会場はピンと張り詰めた雰囲気に包まれていました。中でも新進気鋭の森田道博プロ（６段）と中国を代表する女流プロ楊暉さん（８段）の対局は、別室で実況中継され、上海市出身で船橋在住の芮廼偉プロ９段（世界一の女流棋士）による大盤解説が行われました。この他、プロによる指導碁や自由対局のコーナーも設けられ、大勢の囲碁ファンで、会場となった勤労市民センターはにぎわっていました。なお、対抗戦は、熱戦の末４勝３敗で船橋市が勝利を得ました。翌19日には親善試合が行われ、上海市が雪辱を果たしました。表彰式では、和やかな雰囲気の中でお互いの健闘を讃えあうなど両市の友好交流に新たな１ページが加えられました。

指導碁の会場には女性の姿も多く見られた

三村智保プロ（左）と王輝プロの６段同士の対局

上海市選手団を出迎える大橋和夫市長と船橋市選手団

邱峻くん（アマ２段）と笠倉宏道くん（アマ４段）の大人顔負けの対局に囲碁ファンの熱い視線が注がれた



世界一の女流棋士芮廼偉プロ（９段）と山下功（アマ６段）による大盤解説には大勢の囲碁ファンが集まった

対局終了後、お互いの健闘をたたえ合う大橋市長（アマ６段）と朱唯力（アマ３段）さん

まちかの文化財

竜王宮 ―松本良山の彫刻―
（本町三丁目）

ここもすっかり新しい街になっている。が時に古い木造住家が残っていたりして、どこか旧漁師町の面影をとどめている。

そんな路地の通りを歩いて、御影石の石柱が二本立っていて、つまり山門は無く、明るい境内が望まれて、覚王寺（真言宗豊山派）である。

明るいのもその筈。本堂、客殿、庫裡等及び参道に至るまで、みな新しく整備されたうえ、境内の立ち木が銀杏四本きり。その四本が四本とも大小の枝すべて伐り落とされて丸裸――ただし樹木の生命力は逞しい。元あった枝の付け根あたり、二段にも三段にも新しい緑が噴き出て、傷ついた裸身も今はすっかり覆い隠されている。

境内の東南隅に、松本良山の精緻な彫刻で知られる「竜王宮」がある。見れば、なるほど鑿の切れ味がシャープだ、リアルだ、傑作にちがいないと思う。がそれ以上に、竜も天女も仙人も、得も言われぬ気品が漂う。

良山、本名は不動金八。旧漁師町に生れ、長じて江戸へ出て腕を磨き、のち法橋という高い位にまで昇った仏師だったが、生涯を通じ無欲の人だったと伝える。竜王宮の彫刻はそうした良山の人となりと無関係ではないような気がする。

（文・大木 勲）

見るものの心を射すくめるような迫力のある竜の彫刻

明るい雰囲気の覚王寺本堂

市政トピックス

日ごろの訓練の成果を十分出した消防団員の皆さん。
一糸乱れぬキビキビとした動きが印象的でした

消防団員が訓練の成果を発揮

ポンプ操法大会を開催

6月14日(日)、船橋市消防団ポンプ操法大会が中山競馬場古作第2駐車場で行われました。これは、地域の消防団の日ごろの訓練の成果を発表し、実践的技術の向上と士気の高揚を図るために行っているもので今年で35回目。当日は、21の消防団から92人が参加、ポンプ車の部と小型ポンプ車の部に分かれ、技術を競いました。鋭い号令と団員たちのキビキビとした動きが印象的でした。

一つ一つの動作について細かくチェックされる

幻想的な光りの競演!!

ホタルを観賞する夕べ

夜空を舞う淡い光に思わず見とれる皆さん

初夏の風物詩「ホタルを鑑賞する夕べ」が、6月13日から17日まで運動公園内の「ホタルの里」で行われ、家族連れやカップルなど約8400人の皆さんでにぎわいました。この催しは、ホタルを通じて自然の尊さを知ってもらおうと、昭和60年からスタートしたもので今年で8回目。今回も1万匹のホタルがネットの中を飛び交い、訪れた皆さんは口々に歓声を上げながら、淡い光の競演を楽しんでいました。

初めてホタルを見て感動したという声が多いようでした

アトラクションや模擬店がいっぱい

市立養護学校夏まつり'92

約500人が夏まつりを楽しんだ

7月11日(土)、市内金堀町の市立船橋養護学校で夏まつりが行われました。地元市民の皆さんやOB、父母との交流の輪を広げようと行っているこの催しも今年で9回。神保太鼓の演奏や生徒の皆さんが自満ののどを披露する演芸大会に、会場となった体育館は終始なごやかな雰囲気に包まれていました。

市民ひとことインタビュー

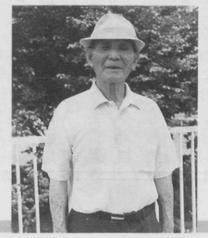
テーマ　広報ふなばしでいつも見るコーナーは?

子供がいるのでやっぱり健康のコーナーです
赤嶺政安さん(西習志野3)
千賀さん
優美ちゃん(1歳10か月)

たまにしか見ないんであまり良くわかりません
山藤幸恵さん(右)(北本町1)
吉岡美幸さん(左)(海神1)

ひと通り全部目を通すようにしています
青山文男さん(馬込町)
小夜子さん

囲碁のコーナーがとても楽しみです。もっと掲載回数が増えるといいですね。
中島孝さん(小室町)



子供がいるので検診や予防注射のコーナーは必ず見ます
加藤海佳子さん(東船橋3)
駿くん(3か月)

テープカットには、大会名誉会長の大橋和夫市長、高橋章船橋中央ライオンズクラブ会長、そして外国のチビッ子たちも参加した

10数か国から約5,000人が大集合

海浜公園で世界子どもまつり開催

7月26日、ふなばし海浜公園で世界子どもまつりが行われました。これは、遊びを通して国際感覚豊かな子供たちを育てようと、船橋中央ライオンズクラブが25周年記念事業として企画したものです。当日は、ペルー、ベルギー、アメリカ、中国など10数か国から5000名以上が参加、広い砂浜でペタンクやビーチバレーなどを楽しんだりミッキーマウスやマーメードなどの作品造りに挑戦、言葉をこえた交流が活発に繰り広げられました。

マウンテンバイクなど豪華賞品が用意された抽選会場は熱気いっぱい

かつぎみこしに子供たちも参加

マーメード像の前でハイ！ポーズ

芝生広場では、野球などで友情を深めた

高根公民館

生産者と消費者を結ぶ 第5回枝豆まつり

子供たちも大喜びの枝豆抜き取りコーナー

7月12日、第5回枝豆まつりが高根公民館で開催されました。地元野菜の即売コーナーや、枝豆抜き取りコーナー、しろうとが作った枝豆コンテストなど内容は盛りだくさん。

また、ゆでたての枝豆やジャガイモを食べながら冷たい飲み物でのどをうるおす模擬店コーナーも。中でも、枝豆の即売は長蛇の列ができ、始まって30分で売り切れるほどの大人気でした。

人気の野菜即売コーナーはアッという間に完売

市立看護専門学校大活躍!!

県下看護学校親睦体育大会

1回戦では葛南校相手に2対0で圧勝

7月10日(金)、千葉県総合運動場で「第35回千葉県下看護学校親睦体育大会」が開催され、市立船橋看護専門学校を含む20校2463人が参加しました。バレーボール、バスケットボール、ソフトボール、400mリレー、スクラムリレーの内4種目を選択して競い合い、船橋看護専門学校は総合第4位と大健闘でした。

故郷への便りにいかがですか

問合せ　広報課☎㊱2015

好評発売中!!

広報絵はがき「船橋の風景」

船橋駅北口広場、桜の海老川ジョギングロード、市民まつりなど船橋の様々な風景を10枚の絵はがきにしました。

ぜひ、ご利用ください。

頒布価格　1セット(10枚)300円

頒布場所

名称	電話番号
広報課	(36)2015
二宮出張所	(64)1811
芝山 〃	(63)2561
高根台 〃	(65)4331
習志野台 〃	(66)2811
豊富 〃	(57)2003

街角ホットニュース

レンズがとらえた わたしのまちのホットな話題

白熱した試合が繰り広げられた 市民卓球大会・個人戦

大橋和夫市長に全国大会での健闘を誓う船橋市レディースの皆さん

7月5日(日)運動公園体育館（夏見台）で、市民卓球大会の男女・年齢別個人戦が行われ、市内の卓球愛好家106人が集まって、白熱した試合が繰り広げられました。

また、7月31日～8月2日に北海道旭川市で開催される全国レディース卓球大会に、千葉県の代表として出場される船橋市レディースの皆さんが紹介され、大橋和夫船橋市長から激励を受けると、参加者の皆さんからも応援の拍手が送られました。

中学生から50歳代まで幅広い卓球愛好家の皆さんが熱い戦いを繰り広げた

習志野台4丁目に ローラースケートの競技専用リンク誕生!!

今年の2月、習志野台4丁目に完成した日本ローラースケート連盟・千葉トレーニングセンターは、日本で初めての競技専用リンク。午後1時から4時までは一般に開放しています。専用リンクで思い切って滑ってみませんか。（水曜日は休み）

▲バルセロナ五輪の公開競技・ローラーホッケーに出場する日本代表チームの迫力あるスケーティング

待望の専用リンクで思い切り練習する各クラブの皆さん

(社)船橋青年会議所が さざんか募金チャリティーバザー

▶収益金は「さざんかさっちゃん教育基金」に寄付された

7月12日、さざんか募金チャリティーバザーが船橋駅コンコースで開催されました。これは、船橋青年会議所の主催で行われたもので、衣類から消しゴムまで様々な品物が大特価で所狭しと並んでいました。また、人気力士若貴のサイン入り色紙も人気の一つでした。このバザーの収益は、さざんかさっちゃん教育基金に寄付されます。

ふなばしの民話

船橋の地名のいわれ

(二)

文・村上昭三

船の橋は海老川橋あたりに架けられたといわれている

むかし、むかし、船橋大神宮が今の場所にご奉祀されたばかりの頃の話だそうです。

その頃、大神宮様の前の町並みは、家がまばらに建っている殺風景なものでした。しかし、陸路も海路も大事な土地で、旅人が盛んに往来していました。

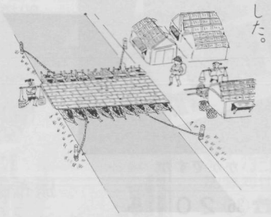
他方、今の海老川は大日川と呼ばれ、川幅は広く、西側だけでもずーっと後年に大野家で本陣を構えた辺りが河岸で、現在の三倍近くはありました。そして水量は川一ぱいに流れていました。そのために橋は容易に架けることが出来ませんでした。そこで、この川を渡るのにいちいち渡し船を使っていました。

これに不便を感じていた土地の人々をはじめ旅人たちは、いつも

「ここに橋があったら便利じゃがのー。何とか出来ねえもんかの!」

と言い合っていました。

それから、年を経るごとに、ここを往来する旅人が益々多くなり、またこの辺りの人口もどんどんと増えて来ました。どうも渡し船では始末が出来なくなりました。



そこで、これを心配した土地の重役の間に

「ここは一つ、船の橋を造って便宜を図ってやりたいものじゃ」

と言う声が持ち上り、色々と相談しました。

その結果、近くの漁師町に住む船大工に何艘もの船を造ってもらいました。そしてその船を、大日川の東西の両岸に向って横向きで数珠つなぎに並べて浮かばせました。更にその船の上に、人々が通れる幅で部厚い丈夫な板を被せるように敷きました。これで立派な橋が出来上りました。

これには、土地の人たちばかりでなく、ここを通る旅人の間でも大層評判になりました。またこの噂は、旅人の口伝えで遠くまで知れ渡りました。

この船の橋が元となり、その後この土地を、誰いうとなく「船橋」と呼ぶようになったということです。

心のふれあう町づくりを目指して 第一回三山地区市民まつり

船橋女子学園バトン部によるパレード

7月11日(土)、三山央町商店街通りで、三山地区市民まつりが行われました。これは、三山をより住みやすく、心のふれあう町にしようと行われたもので、今年が記念すべき第1回。船橋女子学園のバトンガールと市消防局音楽隊の皆さんによるパレードを皮切りに、ご存知ばか面踊りや、三山中学校のブラスバンド部の皆さんによる演奏などが、また夜になると津軽三味線や大太鼓の早打ちに皆さん大喜び。また商店街の大売り出し「よる市」も大好評でした。

人気のあった救急実技コーナー。真剣な表情で心肺蘇生法に挑戦する皆さん

お稽古の成果を研究会で披露 西割町会婦人部華道部

町会会館では様々な活動が行われている

一人ひとりの作品をていねいに見る大貫先生

6月27日(土)、西割会館で西割町会婦人部華道部の研究会が行われました。普段は、毎月第2・4金曜日に昼と夜の部に分かれて活動していますが、この日は研究会ということで、一堂に会して日ごろのお稽古の成果を発表しました。指導されている大貫青糸先生（草月流）も一人ひとりていねいにアドバイスしながら皆さんの作品をカメラに収めていました。

アトリエ訪問

洋画家 柴田静雄さん (西習志野2)

制作は土日など休みの日に集中して行う。夏は、午前3時にはカンバスに向かう

洋画家・柴田静雄さんのお宅を訪ねた。「とにかく狭いですから気を付けて下さい。」玄関脇の急な外階段を柴田さんの後についてソロソロ上がっていく。元々平家の家にアトリエ部分の部屋を増築したのだそうだ。階段を上がり切るとやっと人が一人立てるくらいのスペースがあって、アトリエの入り口になっている。

アトリエは15畳程の洋室。しかし、そのほとんどのスペースは作品や様々な道具類、資料などでギッシリ埋まっている。僅かに畳3畳くらいのスペースが行動範囲といった感じの狭さである。とにかく、至る所にいろいろな物が雑然と置かれていて、しばらくはその面白さに目を奪われてしまった。南に面したベランダ付きのガラス戸が開け放たれて、心地好い風が入ってくる。

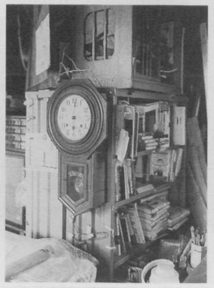
子供のころから絵を描くことが好きだったという柴田さんは昭和31年東京芸大に入る。「色々教えてくれると期待していたのに全然教えてくれないんですよ。でも結果的にはそれが良かったと思います。」絵描きとして独立しようとするからには誰も頼りにしてはいけないことを自然に学んだという。

柴田さんの作品は抽象画だが、実際にあるものをモチーフにして自分で組み立てたイメージの世界を表現したものが多い。「30歳くらいまではよく海などを描いていたんですけど、次第に行き詰まってしまって…。」そんな時ふと足元に落ちていた1本の木ネジが柴田さんの脳を激しく刺激した。「造形的にとにかくラセンというのは面白いですよね。眺めていると次々と発想が広がっていくんです。」そしてこのラセンをモチーフにした作品を次々と発表し話題を集めた。その多くは人工的な物と自然の物とを組み合わせたもので、例えばネジと植物そして裸婦など、それぞれは現実のものだが作品は幻想的で独特の雰囲気を持っている。

立体的な構造に興味があるという柴田さんが今一番興味あるのは植物。よく見ると幾何学的な形が素晴らしいという。中でも一番気に入っているのが「時計草」。宇宙ステーションのようなその形は勿論自然のものであるが極めて人工的であり面白い造形美をもっている。今後どのようにその構想が展開するのか、この時計草がその鍵を握っていることに間違いはなさそうである。

ナイーブな感性、緻密な推理力。そして巧みな計算と描写力によって生み出される柴田芸術の幻想の世界に私たちは思わず引き込まれ時を忘れる。

（元モダンアート協会会員・県立芝山高校教諭）



不思議な空間に迷い込んだようなアトリエ

みんなの広場 サークル通信

塚田公民館 塚田絵画クラブ

昭和62年に公民館の講習会がきっかけで発足したこのクラブでは、現在12名の会員の皆さんが、毎月第1・2・3金曜日に集まり絵筆を走らせています。画材は手軽にできる水彩絵の具を使っています。題材も身近にある物が多く、近くにスケッチに行ったりすることも。「一人で描いていると、自分の目でだけしか見ることができませんが、みんなで描いていると、お互いに評価し合ったりとても楽しいです」と会員の方。また、先生の的確な指導も評判。「基本をしっかりとやって、そして自分を表現できるようになれば…」と熊谷先生。あなたも一度、絵筆をとってみてはいかがでしょう。

（連絡先：斉藤幾夫　☎39―4064）

みんな楽しみながら描いています

一人ひとりの絵について指導する熊谷先生

◀ラリーが続くと楽しいですね

▶卓球が若さを保つ秘けつです

浜町公民館 浜町卓球クラブ

「気負わず、和気合い合いと」がモットーのこのクラブ。講堂に入ると小気味好いリズムに乗って白い球を打っている姿が印象的。昭和57年に婦人卓球クラブとして発足しましたが、現在は男女20名の会員の皆さんが、毎週水曜日に汗を流しています。練習は、コーチの多球練習や10分間隔で相手を替えるラリーなど。「うちは、他のチームと試合をしないので、勝つための卓球ではなく、ラリーの続く卓球を心掛けて練習しています」。また、以前市船でコーチをしていた浅川先生の指導にも定評があります。気軽に楽しく汗を流したいと思っている方、ご一緒にいかがですか。

（連絡先：鮫島邦江　☎23―6869）

年1回のギターフェスティバルや文化祭が楽しみです

同じギターでも弾く人が変わると音色も違ってくるんです▶

習志野台公民館 ギターアンサンブル虹

エレキギターやフォークギターなどギターにもいろいろありますが、クラシックギターのやさしくて繊細な音色には深い魅力があります。発足して15年を迎えようとしているこのクラブでは、現在18名の会員の方が、毎週木曜日に演奏を楽しんでいます。曲はビバルディなどが多いとか。練習は、先生の個人レッスンと合奏。ある程度弾けるようになると、美しい音の追及ということになっていきますが、これが難しくもあり楽しみでもあるそうです。「自分で自分の音を造り出し、探し出すのが最高の喜びですね」。小さなオーケストラ・ギター。あなたも始めてみてはいかが。

（連絡先：稲田悦郎　☎66―6547）

ペットインタビュー

得意技はテーブルの上からごちそうを失敬すること。でも、結局バレちゃうんだよナー

なまえ

ブラッキー

（ニューファンドランド犬）

オーナー

松本由子さん

（習志野台6）

マイネームイズブラッキー。出身はカナダのセントジョーンズ。オーナーがご主人の仕事の関係でカナダに来たとき以来13年お世話になっている。日本に帰ることになったときはちょっと心配したけど、一緒に帰ろうと言ってくれたときは嬉しかったな。名前の由来は、もちろん全身が真っ黒だからなんだけど、男らしく育ってほしいというオーナーの気持ちが込められているらしいんだ。でも、カミナリが大嫌いで、ゴロゴロ鳴り始めるとオロオロしちゃって、期待はずれもいーとこ。その代わり、食物は何でも来い。中でも魚が大好物なんだけど、魚を食べたときのオナラが臭いって、最近あまり出してくれないんだ。だから、よけい食べたくなっちゃうんだなぁーこれが。

WE ARE IN FUNABASHI

ART

自分で編んだものには特別なぬくもりを感じます

渡辺和子さん（上山町3）

子供のときから編み物が好きだったという渡辺さんが、本格的に始めたのは2年前。公民館報に載っていた「手芸クラブ」の記事を見て入会してからです。「先生が製図からきちんと教えてくれますし、大事なところもていねいに教えてくれますので、練習日が楽しみなんです」。初めて編んだのはベスト。そしてカーディガンなど。手編みの魅力は、色やデザインを自由に選べることはもちろんオーダーメードのスーツと同じで体にフィットすること。自分で編んだものは特別なぬくもりを感じるそうです。手編みを始めてから生活に張りが出てきたという渡辺さん。「もう少し上手になったら、家族のものを編んでみたいですね」と抱負を語ってくれました。

まいふぁっしょん

はっきりとした色が好きです

酒井由佳里さん（宮本6）

「はっきりとした色が好きですね」という酒井さんは、都内の銀行にお勤めのお嬢さん。今日は、シャリッとした麻の青いサンドレスにやはり青を基調にした花柄プリントの短めのジャケット。足元も白いパンプスと夏らしいコーディネート。ジャケットのボタンに合わせた少し大きめのゴールドのイヤリングも素敵なアクセントになっています。洋服は船橋で買ったり、東京で買ったりと色々ですが、お気に入りのお店で買うことが多いとか。

今、一番やってみたいのはパラグライダー、行ってみたいのはカリブ海という酒井さん。大好きな季節はもちろん夏です。

ご主人

マルキン・ベーカリー

田久保辰雄さん

〔海神町東1 ☎(31)0052〕

◀直径40cmの特注アンパン

もし、皆さんがマルキン・ベーカリーでアンパンを買おうと思ったら、多少努力が必要です。毎日300個作られるアンパンは、8時の開店とともに飛ぶように売れ、10時には売り切れてしまうからです。

ここのアンパンは、見掛けは普通ですが、実は薄いパンの皮に「こしあん」がたっぷり詰め込まれた特製なのです。そして、一口食べると上品な甘さが口のなかに広がります。

田久保さんは、子供のころからパン屋にあこがれ、中学卒業と同時に都内のパン屋に弟子入りしました。「修行を終えて船橋で店を構えたときから、ずっとこのアンパンを作り続けています。始めのころは、家内と無我夢中でパンを焼いていました。28年間こうしてパン屋をやってこれたのも、このアンパンのおかげです。皆さんに愛される理由ですか。やはり、いい材料だけを吟味して使っているからでしょう。」

今では、息子さん夫婦も店を手伝うようになり、次はフランスパンをこの店の名物にしようと奮闘中です。

あい・らぶ・ふなばし

船橋は緑が多くて住みやすいですネ

大塚ベルタさん（前貝塚町）

「日本人の方から道を聞かれて、困ってしまうこともよくありますネ」。大塚さんは、日系2世のペルー人。ご主人の仕事の関係でエクアドルから船橋にやってきて11か月になります。ご主人と知り合って以来13年付き合っているという日本語はとてもお上手で、『織田信長』を読破するほど。道を聞かれるのもうなずけます。趣味は、落語と旅行。昨年は、一か月ほどかけてご両親の故郷である九州から北海道まで縦断したとか。「北海道の雪景色をまだ見ていないので、大好きな冬にまた行ってみたいですね」。

「船橋は、周りに緑が多くてとても住みやすい町」とおっしゃる大塚さん。これからもっと勉強して将来は、スペイン語を母国語とする皆さんに、日本語や日本について詳しく教えたい、と笑顔で話してくれました。

あとがき

■本号の締め切り間近になってバルセロナオリンピックが開催した。時差の関係で中継時間が遅く眠い毎日が続いている。オリンピックというと4年前のソウル五輪を思い出す。市立船橋高校出身の鈴木大地選手のガッツポーズは今でも忘れられない。今大会には、体操の佐藤寿治選手、女子1万㍍の鈴木博美選手（市立船橋高校出身者）、ウェイトリフティングの水野英郎選手（夏見台3）、ボクシングの土橋茂之選手（三山5）といった船橋市出身の皆さんも出場している。また、普段、船橋市内でトレーニングをしているリクルートランニングクラブからマラソンの有森裕子選手と女子1万㍍の五十嵐美紀選手、県立船橋北校出身の簡優好選手（1600㍍リレー）も出場する。選手の皆さんには、スポーツ健康都市・船橋市の代表としてベストを尽くしてもらいたいと思う。まだまだ眠れない夜が続きそうである。

将棋を打つ音だけが響く会場

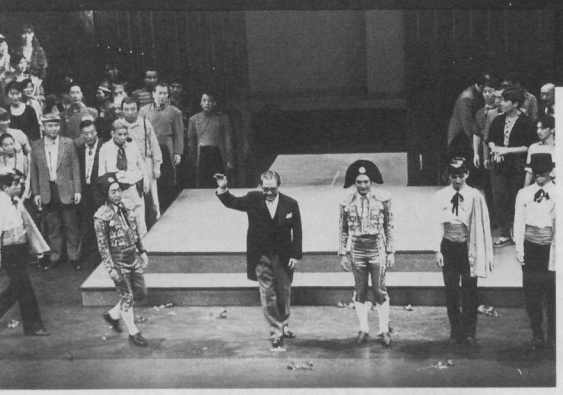
プロとの対局も実現！ 第5回小中学生将棋大会開催

6月7日、青少年会館で第5回小中学生将棋大会が28人が参加して行われました。当日は、決勝戦の大盤解説をされた所司5段と子供たちとの対局も実現、あこがれのプロとの対局に目を輝やかせていました。

市民合唱団126人が熱唱!!
市民オペラ「カルメン」公演

熱唱する市民オペラ合唱団と若潮少年少女合唱団の皆さん

7月12日、市民文化ホールで市民オペラ「カルメン」が上演されました。7回目を迎えた市民オペラには、オペラのすばらしさを味わおうと参加した主婦や会社員など過去最高の126人で結成された市民オペラ合唱団が出演、藤原歌劇団や二期会などで活躍中のソリストの皆さんや若潮少年少女合唱団の子供たちとの息もぴったりで、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉の演奏に乗って、すばらしい迫力ある「カルメン」となりました。また、市長役で大橋和夫市長も出演、名演技を見せていました。全4幕3時間20分に及ぶ公演が終了すると、超満員の観客席から惜しみ無い拍手が送られ、カーテンコールで舞台に勢ぞろいした出演者の皆さんも晴れ晴れとした笑顔で応えていました。



カーテンコールで声援に応える大橋和夫市長

取材中のスタッフ

ケーブルテレビ広報番組
ふなばし CITY NEWS

■船橋のホットなニュースをお届けします。

放送局 FCN(船橋ケーブルネットワーク) 9チャンネル

放送日時 木曜日を除く毎日 (月)16：00～
(火)14：00～ (水)12：00～ (金)10：00～
(土・日)11：30～・20：30～

7月17日、バルセロナオリンピックに出場するリクルートランニングクラブ(小出監督)の有森裕子選手(マラソン)、鈴木博美選手と五十嵐美紀選手(1万㍍)の3選手が大橋和夫市長を表敬訪問しました。同クラブは船橋市内に合宿所を持ち練習を行っています。また小出義雄監督(右から二人目)も市立船橋高校陸上部の監督をしていたことから訪れたもので、選手の皆さんはオリンピックでの健闘を誓っていました。

PHOTOふなばし　第50号　発行　船橋市　平成4年7月編集　編集　船橋市広報課　印刷　㈱総合印刷新報社